

函館市子ども会議

概要・意見書

函館市子ども未来部子ども企画課 2018.8

1 函館市子ども会議の概要

① 函館市子ども会議について

函館市子ども会議は、子どもたち自身が、子どもに関係する施策やまちづくりに関すること等について話し合い、意見発表することで社会参加してもらうことを目的としています。

具体的には、ファシリテーターの進行のもと、大学生のサポートを受けながら、子どもたち自身が設定するテーマに沿ってグループワークを行い、意見をまとめて市に報告します。

② 会議日程・開催場所

	日 時		内 容
1 日 目	平成 30 年 7 月 30 日 (月)	9:00 ～12:30	・自己紹介をした後、函館市に対する思いを共有します。 ・子どもたちの意見から、函館市の問題点・改善点をいくつか取り上げて、現状を知るための疑問点を整理します。
2 日 目	平成 30 年 8 月 2 日 (木)	9:00 ～12:30	・1日目に考えた疑問点を市の職員に質問し、説明を聞きます。 ・函館市の現状を知った上で、“自分たちができること”と“函館市にお願いしたいこと”を考えます。
3 日 目	平成 30 年 8 月 7 日 (火)	9:00 ～12:30	・2日目の内容を報告書にまとめ、発表練習を行います。
		12:45 ～14:00	「市への意見報告会」 まとめた意見の報告を行います。

開催場所：函館アリーナ 1 階多目的会議室

③ ファシリテーター

ほんだ まさひろ
本田 真大

北海道教育大学函館校准教授（博士（心理学）、臨床心理士、学校心理士）

④ サポーター

せき 関	あいり 愛梨	北海道教育大学函館校 3 年
ばば 馬場	みゆ 海優	北海道教育大学函館校 3 年
まつむら 松村	なみこ 菜美子	北海道教育大学函館校 3 年
みうら 三浦	しの 詩乃	北海道教育大学函館校 4 年
うめき 梅木	まい 舞	北海道教育大学函館校 4 年

⑤ 参加者

小学5年生から中学3年生までの子どもを対象に公募し、10名の子どもが参加しました。

(50音順)

あかま 赤間	たくむ 拓夢	五稜郭中学校 3年
あきやま 秋山	かお 花緒	旭岡中学校 2年
いのうえ 井上	そう 総	巴中学校 1年
おがわ 小川	ゆうか 結夏	日吉が丘小学校 5年
くまがい 熊谷	はると 遥斗	南本通小学校 6年
くらや 蔵谷	らく 楽	千代ヶ岱小学校 5年
さいとう 斉藤	りづ 凜月	駒場小学校 6年
みちなが 道永	さあや 沙采	三育小学校 6年
むらかみ 村上	もか 萌華	柏野小学校 5年
やまだ 山田	たえ 多恵	八幡小学校 5年

⑥ 参考「函館市子ども条例」(平成28年4月1日施行)

この条例は、子どもや子育て家庭の支援に関する理念条例であり、市の責務や保護者、学校、住民、事業者の役割を明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めています。

>>第18条(子どもの社会参加)

市は、子どもに関係する施策について子どもが意見を表明できるようにするなど子どもが社会参加をする機会を設けるよう努めます。

2 函館市子ども会議の開催

私たちが考える、函館市の「ノビシロ」

私たちは函館市に愛着を持っています(「スキ」)。

しかし、生活する中で不便なところや不満を感じることもあります(「イマイチ」)。

函館市子ども会議では、「イマイチ」から函館市の「カダイ」を見出し、私たちの「ネガイ」に向かうために必要なことを考えます。

活動では、「カダイ」に関する現状把握のために、函館市の現状や取り組みとして「シリタイ」ことを挙げて、函館市に質問します。

質問への回答や説明を受けて函館市についてよりよく知ったうえで「ネガイ」を見直し、「カダイ」と「ネガイ」をつなぐ現実的な内容を「ノビシロ」として函館市に提出します。

「ノビシロ」には、「私たちにできること」と、「函館市にお願いしたいこと」の両方を含みます。

第1日目 7月30日(月) 9:00~12:30

1 「デアイ」

- ・自己紹介
- ・連想ゲーム…函館で連想する言葉をイカの足のよう書き込む。

2 「カダイ」

- ・函館のスキなところとイマイチなところを書く。
- ・イマイチなところをまとめて「カダイ」とする。

3 「ネガイ」

- ・「カダイ」ごとにグループに分かれ、どうなってほしいか「ネガイ」を書く。

4 「シリタイ」

- ・「カダイ」について、「ネガイ」を意識しながら、市への質問「シリタイ」をまとめる。

第2日目 8月2日(木) 9:00~12:30

5 「分かったこと」

- ・それぞれの「シリタイ」について、市の各部局担当職員から説明を聞き、さらに質問して、「分かったこと」をまとめる。

6 「ネガイ」の見直し

- ・「分かったこと」から、函館市の現状と函館市にできること、できないことを踏まえて自分たちの「ネガイ」を見直す。

7 「ノビシロ」

- ・「分かったこと」を踏まえて、「カダイ」と「ネガイ」をつなぐ「ノビシロ」を考える。
- ・「ノビシロ」は、自分たちができることと、市にお願いしたいことの両方を考える。

第3日目 8月7日(火) 9:00~14:00

8 「ツタエタイ」

- ・「ツタエタイ」ことをグループごとに報告書にまとめる。
- ・報告会の発表練習を行う。

9 意見報告会

- ・まとめた意見の報告を行う。

※ 市は、子どもたちの意見を踏まえて、『ネガイ』を実現するように努めていく。

3 函館市子ども会議の様子

第1日目

①自己紹介



②連想ゲーム



③グループワーク



④グループワーク



第2日目

①市担当職員からの説明



②市担当職員からの説明



③市担当職員からの説明



④グループワーク



第3日目

①意見書の作成



②意見書の作成



③「市への意見報告会」



④発表の様子



⑤意見書を渡しました



⑥最後のミーティング



2018年 函館市子ども会議

意見書

私たちが考える、函館市の「ノビシロ」

【テーマ】

交通

【報告者】

秋山花緒

村上萌華

井上

総

2018年

7月30日(月) 9:00-12:30

8月2日(木) 9:00-12:30

8月7日(火) 9:00-14:00

1. 函館市の「スキ」なところ

交通 → バス・市電・新幹線など、様々な交通手段があり、どこに行くにも便利なところがスキ。

歴史 → 昔の歴史ある街並が今もいろいろな所に残っていることがスキ。

しせつ → 子どもでも利用しやすくたくさんあるところがスキ。

イベント → 地域の人たちが協力して楽しめるイベントをがいさいてくれるところがスキ。

自然 → 自然がたくさんあってすずしいところ。きれい。そして海や空もすんでいて明かりがあってスキ。

観光 → 観光できるところ。例えば西部地区、神社、函館山の夜景などたくさんあって楽しくてスキ。

2. 函館市の「カダイ」

交通のルールとマナー（歩行者、自転車など）が悪い。

3. 函館市の現状

- ・交通のルール・マナーは、事故が起きる可能性があるので全国共通となっているが、函館山などでは、その地形にあった運転をしなくてはならない。
- ・道路の幅を拡張することは難しいため、自転車専用の道路を造ることは難しい。
- ・全国的に問題となっている飲酒運転は函館では0件。
- ・前方不注意で発生する事故の割合が多い。
- ・大人と子供で気をつけるルール・マナーは同じ。
- ・ルール・マナー違反で起こした事故は多くて、9521万円の賠償金の請求がされるという例もあるため、自転車の保険に入ると安心。
- ・10年前と比べると死亡事故が大きく減っているのは、エアバックがより多く普及したり、シートベルトを着用する人が増えたりして、そのようなことを気をつける人が多くなったりしているから。
- ・30代の人々の事故の割合が多いのは、仕事中の不注意で起こすことが多いから。
- ・会社で5台以上車を持っている会社は安全運転管理者制度というものがある。
- ・歩行者のルール・マナーもある。
- ・70歳以上と13歳未満は自転車で歩道を走れる。
- ・自転車事故は約5分20秒に1件、発生している。

4. 私たちの「ネガイ」

(1) 函館市の現状を知る前の、最初の「ネガイ」

1. 自転車せんようの道路を作ってほしい。2. 身のまわりをよく見て、自転車ははしによけて、車道側を走る。3. 子どもはもちろん、大人のマナーもきちんと守るよう注意のよびかけをしてほしい。4. バスや市電では他人の事を配慮してマナーをよくしてほしい。5. 歩行者ゆうせんて自転車を走ってほしい。など

(2) 「シリタイ」ことをインタビューし、現状を知った、今の「ネガイ」

1. 車・歩行者・自転車のそれぞれが、それぞれのルール・マナーを守って事故のない函館を目指していきたい。2. みんなが交通ルールをどんな時でも守って生活してほしい。3. お年よりの事故が減ってほしい。4. 函館は飲酒運転が零なのでこれからも続けてほしい。5. 一人一人がルールを守り、事故を少なくしていきたい。6. 自転車・車を運転する人は歩行者ゆうせんと思いやりをもって歩行者ももちろん気をつけることがあるから、注意してほしい。

5. 函館市の「ノビシロ」

函館市民としての私たちにできること

- まず、自分たちから率先してルール、マナーを守り、周りの人たちに広めていく。
- 歩いている時も、自転車を運転する時も、それぞれあるルール、マナーを常に頭に入れて行動する。
- 自転車を運転する時は、必ず歩行者を優先させる。
- 時と場所、場合によって自転車の運転の仕方を変える。
- 一人でも自分からルールを守り、違反している人がいたら、他人だとあまりできないけど、友人なら注意する。
- 特に夜は横たん歩道などに頼らず、自分から安全確認をする。
- シートベルトをするとか安全確認を自分からするなど、
自分の命は自分で守る!というのを頭に
入れる。

函館市にお願いしたいこと

- 交通のルール、マナーが守れているか市でみまわりして、ムリヤリにでも守るようにしてほしい。
- 事故が多発している所やおきそうな所に看板をおいたり、直せるところは工事をして改善してほしい。
- 人どおりの多いところで呼びかけをしたり、たくさんの方がみるところにポスターなどのけいじ物をはってほしい。
- ポスター、チラシの内容をいろいろな事故をまとめ注意をよびかけ、どのような事故がおきたか、自分はどうすれば良いかわかりやすくしてほしい。そして、さらなる減少を目指してほしい。
- また、大人向けのインパクトのあるポスターを町中にはってほしい。(選挙ポスターのように)
- 交通イベントを学校外で小中高生向けにやってほしい。特に高校生は集団で帰るやイヤホンをつけて自転車に乗るなど。
- 歩行者のルール違反があることを皆が知るきっかけを作ってほしい。(皆あまり知らない)
- 大人(20代~50代)の人達向けの交通教室をやってほしい!

2018年 函館市子ども会議

意見書

私たちが考える、函館市の「ノビシロ」

【テーマ】

遊び場所

【報告者】

小川 結夏

山田 多恵

熊谷 遥斗

巖谷 楽

2018年

7月30日(月) 9:00-12:30

8月2日(木) 9:00-12:30

8月7日(火) 9:00-14:00

1. 函館市の「スキ」なところ

景色 — どこからでもきれいな
景色が見られるから。

観光地 — いろいろあって
にぎやかでいいから。

海 夏になるとたくさん遊び場から。

街並み — 外国みたいだから。

2. 函館市の「カダイ」

小中学生向け番の身近な遊び場所が少ない

3. 函館市の現状

現在、函館市内には、398か所の公園があります。公園は、主に函館市と北海道が整備しています。

公園の遊具は函館市が決めています。遊具を決めるときには函館市が土地或の年れり木構成や遊具の利用状況などを調べて遊具の候補者を選び、町会や学校の関係者の意見を参考に決めています。

公園の遊具は木製では約20年、ほか者製では約30年もちます。公園の遊具の点検は毎年春にしています。公園をつくるためにかかるお金は約1700万円の公園に大型すべり台(約140万円)と、3連金失木奉(約30万円)、大型ブランコ(約100万円)、ほか広土場、照明、水飲み土場などを設けて、合計約2300万円の金がかかっています。

函館市には児童館が27か所あります。土地内に金失木奉、ブランコなどの遊具を設けている児童館が6か所あります。

4. 私たちの「ネガイ」

(1) 函館市の現状を知る前の、最初の「ネガイ」

- もとからある公園に新しい遊具を置けばいい。
- 流れるプールなど、市民プールを楽しいものに。
- あき地などを使って、新しい公園をつくらせて、函館市にあまりない遊具を置けばいい。
- 草が少ない方が遊びやすくいい。
- 小さい子の遊び場だけでなく、高学年や、中学年等も暮れを遠慮せずに楽しく遊ぶ場所があれば皆が楽しく暮らせると思う。
- 函館は水産物が有名なので水族館をつくらせてほしい。

(2) 「シリタイ」ことをインタビューし、現状を知った、今の「ネガイ」

- 市は古い公園の遊具を新しいものに変えようという取り組みをしていて、公園が増えるわけではないけれど、早く安全な新しい遊具場になってほしい。
- 公園の草かりをなるべく多くしてほしい。
- 自転車を置くところを少し広くしてほしい。
- ブランコのせきを高くしてほしい。
- 公園の遊具をもっと増やしてほしい。
- 公園の遊具を決めるとき、地域の小中学生等に聞いてほしい。

5. 函館市の「ノビシロ」

函館市民としての私たちにできること

- 。遊具を大事に使う。
- 。 〃 正しく使う。
- 。 おかしな使い方をして
している子には注意する。
- 。 遊具がぼろぼろに
ならないように正しく使い、
みんなのめいわくに
ならないようにする。

函館市にお願いしたいこと

- 。地域の小中学生にも遊具を決めさせてほしい。
- 。正しい遊具の使い方をどこかに書いてほしい。
- 。草かりをひんぱんにしてほしい。
- 。点検の時、草、すな場なども見てほしい。
- 。自転車置き場を広くしてほしい。

2018年 函館市子ども会議

意見書

私たちが考える、函館市の「ノビシロ」

【テーマ】

ゴミのマナー

【報告者】

赤間 拓夢

斉藤 凜月

道永 沙采

2018年

7月30日(月) 9:00-12:30

8月2日(木) 9:00-12:30

8月7日(火) 9:00-14:00

1. 函館市の「スキ」なところ

- 海産物が新鮮でおいしい
海が近くて、海の近くに飲食店があるから
- 歴史的な建造物が残っているところ。
調査などから新たな発見があるかもしれないから
- ラッキーピエロやハセストなどおいしい飲食店がたくさんある
観光客のためにもなるけど地元でも人気があるから。

2. 函館市の「カダイ」

1. 函館市からゴミを減らしていくこと。
2. 市での清掃活動を増やすこと。

3. 函館市の現状

・平成28年度のボランティア活動により、584.9m³のゴミが回収されている。

・このゴミの量はゴミ収集車73台分、30Lのゴミ袋約17547袋分に当たる。

→ポイ捨てが多いことがよくわかる。

・タバコの吸い殻が最も多い。

市では不法投棄防止のため、監視専門員の配置や、監視カメラなどの設置をしている。

ボランティア清掃活動に対しては、ゴミ袋の支給、集めたゴミの収集などにより、環境美化の取り組みを支援している。

4. 私たちの「ネガイ」

(1) 函館市の現状を知る前の、最初の「ネガイ」

タバコをつくる会社を減らす。

タバコの売り目を少なくする。

火がつきやすいものなどをおかないでほしい。

争いなどところであそびたい。

市役所などでゴミ拾いの活動をさらに活発に行う。

各学校でのゴミ拾いを呼びかけるなど...

(2) 「シリタイ」ことをインタビューし、現状を知った、今の「ネガイ」

皆がゴミのルールを守る

ゴミを分別して捨ててほしい

函館市の道にゴミが無くなること。

ゴミを函館市から減らすこと。

ボランティア活動をたくさん行い函館市からゴミを無くして行くこと。

5. 函館市の「ノビシロ」

函館市民としての私たちにできること

- ・学校でのボランティア活動、ゴミ拾い活動等に参加する
- ・毎日の生活でもゴミ拾い活動を行う。
↳地域のボランティア活動に自主的に参加する
- ・身の周りにマナーを守っていない人がいたら注意する
- ・毎日の生活から出るゴミも、マナーを守り捨てる。
- ・願っただけではなく、行動にうつす。

函館市にお願いしたいこと

- ・ゴミ拾い活動をもっと活発に行ってもらい
↳グリーンウォーキング大作戦を行う学校または学年の枠を
広げてみては？
- ・市の道にゴミ箱を置き、歩~~歩~~人たがポイ捨てしないようにする
↳テナントとしてどうめいなゴミ箱を置いてみては？
- ・ポスター等を家にも配布してみては
- ・ゴミのポイ捨てが少なくなるよう呼びかける。
- ・町には、あるポスターを増やす。
↳バスや電車にもは、てみては
↳ポスターの多い地域に目のついたポスターをはる